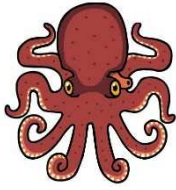


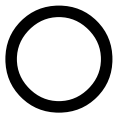
# マダコ（外房）



- ・ 漁獲の多くは銚子・九十九里～外房で、たこつぼ、沖合底びき網などで漁獲される。
- ・ 広く回遊する群と地先に生息する群が存在し、広く回遊する群が漁獲量の大半を占める。
- ・ 漁獲盛期は12月～4月。

## 資源評価

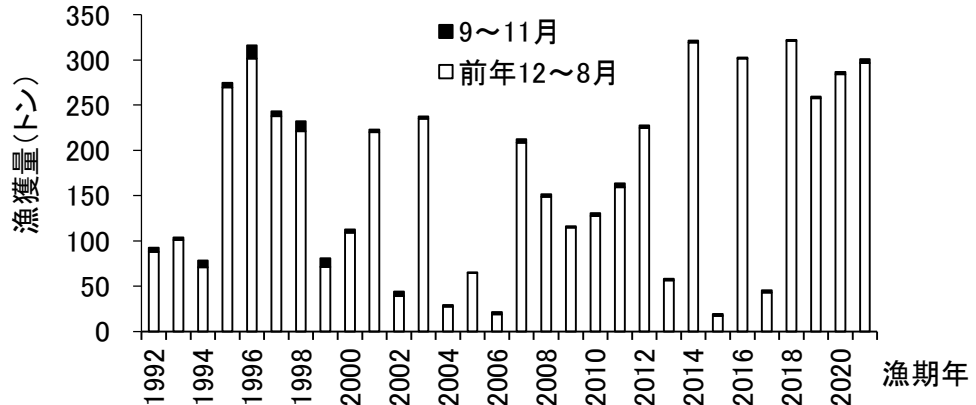
水準：中位



動向：横ばい



## 漁獲量



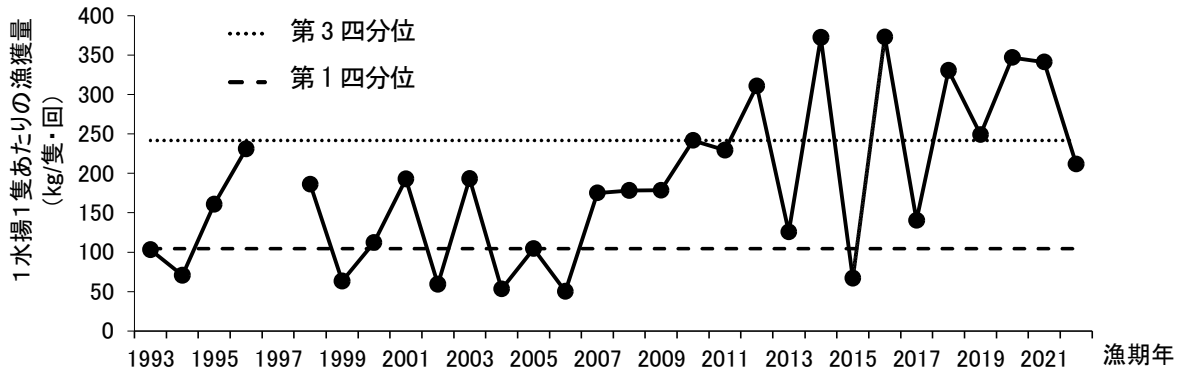
千葉県におけるマダコ漁期年別漁獲量の経年変化 (千葉県調べ。年は漁期年：前年12月～11月)

- ・ 千葉県全体の漁獲量は年ごとに大きく変動している。
- ・ 漁獲量は資源量の他、海況による回遊経路や時期の変動、茨城県以北の漁獲量等に影響を受けて変動すると考えられる。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、外房 A 漁協におけるたこつぼ漁業の1993年以降のCPUE(1水揚1隻当たりの漁獲量)で判断した。
- ・ 変動が激しいが、2022年の資源水準は過去30年間で中位、最近5年間の資源動向は横ばい傾向にある。



外房 A 漁協におけるたこつぼ漁業の CPUE (1水揚1隻当たりの漁獲量) の経年変化  
※ 年は漁期年 (前年12月～8月)、1997年は隻数データ不明のため欠測。

## 資源管理の取り組み

- ・ たこつぼ漁業の許可の制限措置として、海域ごとに操業隻数・期間が定められている。